

【夏（野菜・生き物等）】

実践① 4歳児（スイカの種集め）

園のおやつにスイカを食べた。「この黒いのん、種やで」「いっぱいあるな」「集めてみよう」とスイカの種を集めた。その種をカップに入れ、以前から集めている種を並べている廊下の棚に置いた。すると、次の日から種集めが始まった。カボチャ、メロン、カキやオシロイバナ、キバナコスモス、アサガオ、等いろいろな種を見つけて並べていた。園外保育に行つて見つけた種や、家から持ってきた種もあった。また、並べている種の入ったカップや容器を振って、音の違いにも気づいていた。

（成果）

- ・種集めを通して、種にはいろいろな形、大きさ、種類などがあることを知った。
- ・種の形や大きさ、種類によって振った時の音の違いを発見することができた。
- ・友だちに見つけた種や持ってきた種を知らせたり、園や園外保育に行ったときに見つけた草花の種を図鑑で調べたり、友だちと一緒に種集めを楽しんでいた。

実践②（食育）

野菜作りは全年齢が取り組み、食育の中で健康な心と体の実践を行っている。今年度はピーマンやトマト、さつまいもと野菜が良く育ち、クッキングに取り入れ、自分たちで作る楽しみや味わう楽しみを経験した。また自然との関りも持つことができた。

給食室に毎日「今日の献立」を聞きに行くことで、今日の給食がどんな食材からできているのかを知り、食に対する関心や、感謝の気持ちを持つことを育てている。

実践③（トウモロコシ事件）

園で栽培しているトウモロコシが、何者かに食べられ、悲惨な姿になっていました。園児はそれに気付くと、虫眼鏡を持ち出し、犯人捜しを始めました。近くに、糞を見つけ、動物であることを話し合い、その後絵本や図鑑でどの動物か調べますが、分かりません。子ども達はそれぞれ、自分の思ったことや予想したことを友達に伝えます。年長児は、なぜその動物だと思うのか、理由も交えて言葉にしていました。

その後、園長先生が草刈をした時に何か目撃しているかもしれないと思い付き、聞きに行くことにしました。すると、園長先生はアライグマのようなものを見かけたと教えてくれました。

犯人が分かると、次に子ども達は、アライグマを捕まえて、飼育したいという思いから、捕まえる作戦を考え始めました。長い木やカゴを使って、一つの大きな罠を作りました。

（成果）

一人一人が予想して考えたり、自分の考えを伝えたり、友達の見解を聞いたりする経験ができました。犯人捜しをする中で、思考力の芽生えや、自分なりに表現する姿も見られました。また、アライグマを捕まえないという共通の目的に向かって取り組むことで、協同性を育む経験になりました。